

1 概要

- (1) 履行場所
愛知県体育館
名古屋市中区二の丸 1 番 1 号
- (2) 業種及び用途
スポーツ施設（体育館）

2 仕様

- (1) 受電電気方式、受電電圧、計量電圧、標準周波数及び受電方式
 - ① 受電電気方式
交流 3 相 3 線式
 - ② 受電電圧
6,000V
 - ③ 計量電圧
6,000V
 - ④ 標準周波数
60 ヘルツ
 - ⑤ 受電方式
1 回線方式
- (2) 契約電力、予定使用電力量
 - ① 契約電力（契約上使用できる電気の最大電力をいう。）
400kW ただし、各月の契約電力はその月の最大需用電力と前 11 ヶ月の最大需用電力のうち、いずれか大きい値とする。
 - ② 予定使用電力量
525,000kWh 別紙 2 のとおり
- (3) 使用期間
令和 8 年 4 月 1 日 0 時 00 分から令和 8 年 12 月 31 日 24 時 00 分まで
- (4) 電力量の検針
 - ① 自動検針装置
有
 - ② 電力会社の検針方法
自動検針
 - ③ 電力量計
みなし小売電気事業者（旧一般電気事業者）以外の小売電気事業者が契約する場合は、中部電力株式会社の自動検針装置（電話加入権等通信設備を含む。）を介し、自動検針方式とする。また、財産については、中部電力株式会社の財産とする。
- (5) 需給地点
愛知県体育館の構外の名城公園電気室内細隙型開閉器の負荷側接続点
(供給地点特定番号 0411290000307500000000)
- (6) 電気工作物の財産分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (7) 保安上の責任分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (8) 力率
力率は、その月の午前 8 時から午後 10 時までの時間における平均力率とする。
単位はパーセントとし、小数点以下第一位を四捨五入する（瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は 100 パーセントとする。）。
力率となる平均力率の算定は次のとおりとする。
$$\text{平均力率} = \text{有効電力量} / \sqrt{\{(\text{有効電力量})^2 + (\text{無効電力量})^2\}}$$
- (9) その他特記事項
各月の電気料金の算定方法で、基本料金について力率割引又は割増を行う場合及び、電力量料金の燃料費調整額については、中部管内の一般電気事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとし、これにより難しいときは協議するものとする。

1 概要

- (1) 履行場所
愛知県武道館
名古屋市港区丸池町 1 丁目 1 - 4
- (2) 業種及び用途
スポーツ施設（武道館）

2 仕様

- (1) 受電電気方式、受電電圧、計量電圧、標準周波数及び受電方式
 - ① 受電電気方式
交流 3 相 3 線式
 - ② 受電電圧
6,000V
 - ③ 計量電圧
6,000V
 - ④ 標準周波数
60 ヘルツ
 - ⑤ 受電方式
1 回線方式
- (2) 契約電力、予定使用電力量
 - ① 契約電力（契約上使用できる電気の最大電力をいい、30 分最大需要電力計により計測される需要電力が原則としてこれを超えないものとする。）
500kW
 - ② 予定使用電力量
760,000kWh 別紙 2 のとおり
- (3) 使用期間
令和 8 年 4 月 1 日 0 時 00 分から令和 9 年 3 月 31 日 24 時 00 分まで
- (4) 電力量の検針
 - ① 自動検針装置
有
 - ② 電力会社の検針方法
自動検針
 - ③ 電力量計
みなし小売電気事業者（旧一般電気事業者）以外の小売電気事業者が契約する場合は、中部電力株式会社の自動検針装置（電話加入権等通信設備を含む。）を介し、自動検針方式とする。また、財産については、中部電力株式会社の財産とする。
- (5) 需給地点
愛知県武道館の愛知県が設置した構内引込第 1 柱上の一般電気事業者の架空引込線と愛知県の遮断器電源側接続点。
(供給地点特定番号 0411110000707300000000)
- (6) 電気工作物の財産分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (7) 保安上の責任分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (8) 力率
力率は、その月の午前 8 時から午後 10 時までの時間における平均力率とする。
単位はパーセントとし、小数点以下第一位を四捨五入する（瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は 100 パーセントとする。）。
力率となる平均力率の算定は次のとおりとする。
$$\text{平均力率} = \text{有効電力量} / \sqrt{\{(\text{有効電力量})^2 + (\text{無効電力量})^2\}}$$
- (9) その他
各月の電気料金の算定方法で、基本料金について力率割引又は割増を行う場合及び、電力量料金の燃料費調整額については、中部管内の一般電気事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとし、これにより難しいときは協議するものとする。

1 概要

- (1) 履行場所
愛知県一宮総合運動場
一宮市千秋町佐野字向農 7 5 6
- (2) 業種及び用途
スポーツ施設（総合運動場）

2 仕様

- (1) 受電電気方式、受電電圧、計量電圧、標準周波数及び受電方式
 - ① 受電電気方式
交流 3 相 3 線式
 - ② 受電電圧
6,000V
 - ③ 計量電圧
6,000V
 - ④ 標準周波数
60 ヘルツ
 - ⑤ 受電方式
1 回線方式
- (2) 契約電力、予定使用電力量
 - ① 契約電力（契約上使用できる電気の最大電力をいう。）
105kW ただし、各月の契約電力はその月の最大需用電力と前 11 ヶ月の最大需用電力のうち、いずれか大きい値とする。
 - ② 予定使用電力量
131,000kWh 別紙 2 のとおり
- (3) 使用期間
令和 8 年 4 月 1 日 0 時 00 分から令和 9 年 3 月 31 日 24 時 00 分まで
- (4) 電力量の検針
 - ① 自動検針装置
有
 - ② 電力会社の検針方法
自動検針
 - ③ 電力量計
みなし小売電気事業者（旧一般電気事業者）以外の小売電気事業者が契約する場合は、中部電力株式会社の自動検針装置（電話加入権等通信設備を含む。）を介し、自動検針方式とする。また、財産については、中部電力株式会社の財産とする。
- (5) 需給地点
愛知県一宮総合運動場の構内引込第 1 柱上開閉器の電源側接続点。
（供給地点特定番号 0411302155010017000000）
- (6) 電気工作物の財産分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (7) 保安上の責任分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (8) 力率
力率は、その月の午前 8 時から午後 10 時までの時間における平均力率とする。
単位はパーセントとし、小数点以下第一位を四捨五入する（瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は 100 パーセントとする。）。
力率となる平均力率の算定は次のとおりとする。
$$\text{平均力率} = \text{有効電力量} / \sqrt{\{(\text{有効電力量})^2 + (\text{無効電力量})^2\}}$$
- (9) その他
各月の電気料金の算定方法で、基本料金について力率割引又は割増を行う場合及び、電力量料金の燃料費調整額については、中部管内の一般電気事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとし、これにより難しいときは協議するものとする。

1 概要

(1) 履行場所

愛知県総合射撃場

豊田市宇連野町ウネ畑 1 2 - 9 5

(2) 業種及び用途

スポーツ施設（射撃場）

2 仕様

(1) 受電電気方式、受電電圧、計量電圧、標準周波数及び受電方式

① 受電電気方式

交流 3 相 3 線式

② 受電電圧

6,000V

③ 計量電圧

6,000V

④ 標準周波数

60 ヘルツ

⑤ 受電方式

1 回線方式

(2) 契約電力、予定使用電力量

① 契約電力（契約上使用できる電気の最大電力をいう。）

425kW ただし、各月の契約電力はその月の最大需用電力と前 11 ヶ月の最大需用電力のうち、いずれか大きい値とする。

② 予定使用電力量

246,000kWh 別紙 2 のとおり

(3) 使用期間

令和 8 年 4 月 1 日 0 時 00 分から令和 9 年 3 月 31 日 24 時 00 分まで

(4) 電力量の検針

① 自動検針装置

有

② 電力会社の検針方法

自動検針

③ 電力量計

みなし小売電気事業者（旧一般電気事業者）以外の小売電気事業者が契約する場合は、中部電力株式会社の自動検針装置（電話加入権等通信設備を含む。）を介し、自動検針方式とする。また、財産については、中部電力株式会社の財産とする。

(5) 需給地点

愛知県総合射撃場の構内引込第 1 柱上開閉器の電源側接続点。

（供給地点特定番号 0416408042017600000000）

(6) 電気工作物の財産分界点

(5) 需給地点に同じ。

(7) 保安上の責任分界点

(5) 需給地点に同じ。

(8) 力率

力率は、その月の午前 8 時から午後 10 時までの時間における平均力率とする。

単位はパーセントとし、小数点以下第一位を四捨五入する（瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は 100 パーセントとする。）。

力率となる平均力率の算定は次のとおりとする。

$$\text{平均力率} = \text{有効電力量} / \sqrt{\{(\text{有効電力量})^2 + (\text{無効電力量})^2\}}$$

(9) その他

各月の電気料金の算定方法で、基本料金について力率割引又は割増を行う場合及び、電力量料金の燃料費調整額については、中部管内の一般電気事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとし、これにより難しいときは協議するものとする。

1 概要

- (1) 履行場所
愛知県教育会館
名古屋市中区新栄 1 丁目 4 9 - 1 0
- (2) 業種及び用途
オフィス、会議室

2 仕様

- (1) 受電電気方式、受電電圧、計量電圧、標準周波数及び受電方式
 - ① 受電電気方式
交流 3 相 3 線式
 - ② 受電電圧
6,000V
 - ③ 計量電圧
6,000V
 - ④ 標準周波数
60 ヘルツ
 - ⑤ 受電方式
1 回線方式
- (2) 契約電力、予定使用電力量
 - ① 契約電力（契約上使用できる電気の最大電力をいう。）
186kW ただし、各月の契約電力はその月の最大需用電力と前 11 ヶ月の最大需用電力のうち、いずれか大きい値とする。
 - ② 予定使用電力量
363,000kWh 別紙 2 のとおり
- (3) 使用期間
令和 8 年 4 月 1 日 0 時 00 分から令和 9 年 3 月 31 日 24 時 00 分まで
- (4) 電力量の検針
 - ① 自動検針装置
有
 - ② 電力会社の検針方法
自動検針
 - ③ 電力量計
みなし小売電気事業者（旧一般電気事業者）以外の小売電気事業者が契約する場合は、中部電力株式会社の自動検針装置（電話加入権等通信設備を含む。）を介し、自動検針方式とする。また、財産については、中部電力株式会社の財産とする。
- (5) 需給地点
愛知県教育会館の構内引込第 1 柱上開閉器の電源側接続点。
(供給地点特定番号 0411292331490907000000)
- (6) 電気工作物の財産分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (7) 保安上の責任分界点
(5) 需給地点に同じ。
- (8) 力率
力率は、その月の午前 8 時から午後 10 時までの時間における平均力率とする。
単位はパーセントとし、小数点以下第一位を四捨五入する（瞬間力率が進み力率となる場合には、その瞬間力率は 100 パーセントとする。）。
力率となる平均力率の算定は次のとおりとする。
$$\text{平均力率} = \text{有効電力量} / \sqrt{\{(\text{有効電力量})^2 + (\text{無効電力量})^2\}}$$
- (9) その他
各月の電気料金の算定方法で、基本料金について力率割引又は割増を行う場合及び、電力量料金の燃料費調整額については、中部管内の一般電気事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとし、これにより難しいときは協議するものとする。